

第15回尾道灯りまつり

日時 10月13日(土) 18:00~21:00

*荒天時:10月14日(日)

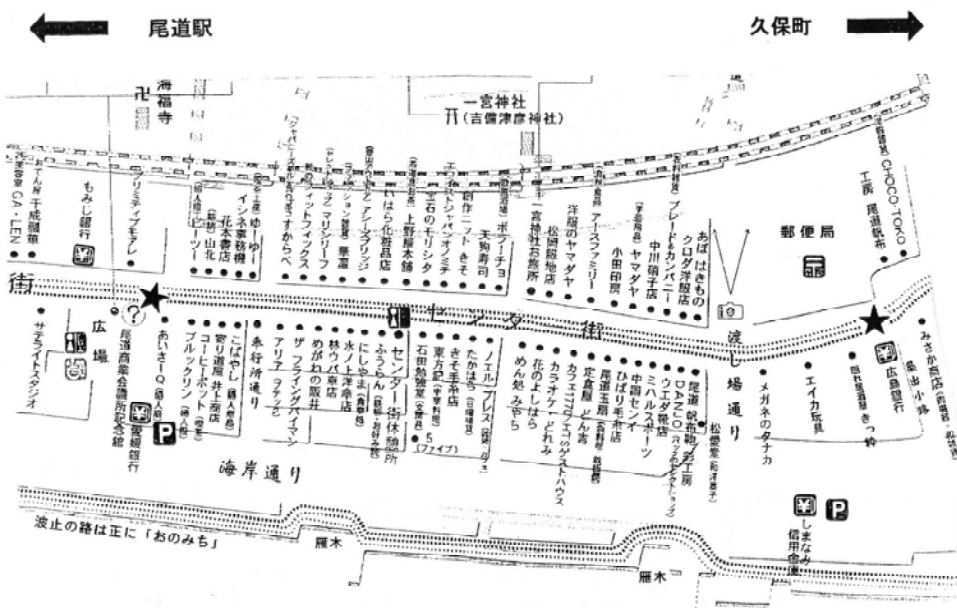
場所 商業会議所記念館広場から広島銀行の間

*下記の地図の★印の範囲

去年に続き、今年も灯りまつりを盛り上げていくため、市内の園児達にも、ぼんぼりの製作依頼がありました。年少・年中・年長組の園児が1人2つずつぼんぼりを製作しましたので、ぜひ見に行っておいて下さい。とてもきれいですよ。

「ぼんぼり」には、園名と園児名が書いてあります。ぼんぼりの上側に白色、下側に桃色のラインが入っています。そして、ぼんぼりにはそれぞれが好きな絵を描き、クラスカラーの絵の具を上から塗って、はじき絵をしています。ぜひ探してみてください。

当日は商店街の担当者が法被(はっぴ)もしくは、ジャンパーを着ておりますので、ご不明な点はお尋ね下さい。



10月16日(火)より俳句暗誦を始めます!

??なぜ、俳句暗誦をするのでしょうか??

★記憶力はダムのようなものだと言われています。いくら良い発電装置があっても肝心の水がなければ何もなりません。同じように、いくら考える力があっても記憶力の弱い子どもは考えるための材料が少ないので、正しい判断ができないのです。つまり過去の沢山の経験を蓄えておき、必要な時に必要な経験を思い出して行動するというようなのです。

★このように大切な記憶の能力も、指導者のちょっとした心づかいでどんな子どもでも立派に伸ばせるものなのです。子どもは、1歳頃から言葉を覚え始め、3歳頃には日常生活に必要な言葉を使いこなせるくらいになり、4、5歳になりますと、かなり複雑な言葉を使いこなせるようになります。まわりから入ってくる会話を海綿のようにサッと吸収して、親がドキリとするようなことも言うのもこの頃です。こうして記憶力は素晴らしい勢いで伸び、7歳前後になると大人と同じ位の記憶力の持ち主がいる位です。

★この頃が記憶力の伸びるピークですから、この頃に記憶力の能力を伸ばしてやれば、その子どもは一生素晴らしい記憶力の持ち主になれる筈です。

★記憶力を伸ばす方法の一つとして長野県松本市の才能教育をする幼児学園で、小林一茶の俳句を使い、これを覚えさせております。当園でもその方法を導入しています。

★記憶力を伸ばす最も大切なポイントは、覚えたことを繰り返し何回もやることです。最初は一つ覚えるまで何回も繰り返させます。完全に覚えたら新しい物の一つ加えていきます。それをどんどん繰り返し練習して、今までに覚えたものを省略しないで、次の新しい物に入ります。

★この繰り返しを面倒がって怠りますと、せっかくの努力も半分の効果しかなくなってしまいます。家庭ではなかなか難しいと思いますので、園で毎日やりたいと思います。

★別プリントで俳句一覧表をお渡ししますから、ご家庭のどこかに貼っておいて下さい。

